

# 行政改革調査特別委員会記録

令和6年8月26日開催

- |    |       |                                                                           |
|----|-------|---------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 日 時   | 令和6年8月26日(月) 13:27 ~ 14:11                                                |
| 2  | 場 所   | 委員会室                                                                      |
| 3  | 出席委員  | 広浦委員長 幸坂副委員長<br>山崎委員 横田委員 金久委員 星加委員 福島委員<br>水谷委員 下川委員 橋本委員 住友進一委員<br>陶久委員 |
| 4  | 欠席委員  | なし                                                                        |
| 5  | 正副議長  | 藤本議長                                                                      |
| 6  | 傍聴議員  | 渡部議員 佐々木議員                                                                |
| 7  | 出席理事者 | 西田副市長 平井副市長 東條政策監 篠原政策監<br>吉積企画部長 七條企画政策課長 田中DX推進課長<br>ほか                 |
| 8  | 事務局   | 佐坂議会事務局長 近藤議事課長、谷崎課長補佐<br>玉木課長補佐                                          |
| 9  | 傍聴者   | なし                                                                        |
| 10 | 記者席   | 1名                                                                        |

---

#### 協議事項

- (1) 令和6年度行政組織機構改革の概要について
- (2) 行政のデジタル化について

## 【 会議の概要 】

開 会 13 : 27

広浦委員長 皆さん、こんにちは。本日は何かとお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。予定より早いですがおそろいようですので、ただいまから、行財政改革調査特別委員会を開催いたします。

開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。本日は委員の皆様方には何かとお忙しい中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。また、理事者の皆様におかれましては、業務多忙の時期にもかかわりませず、御出席をいただき誠にありがとうございます。本委員会は行財政改革について皆様とともに議論を深め、所管の業務についての現状の把握や知識の共有を図りたいと考えております。本日は、行財政改革に係る二つの施策について、理事者から事業の概要、進捗状況等を御説明いただき、委員さんからの質疑、御意見をいただくという形で進めていきたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

それでは、理事者を代表して西田副市長に御挨拶をいただきたいと思います。西田副市長。

西田副市長 委員の皆様には、全員協議会等で何かとお疲れのところ、行財政改革調査特別委員会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日の委員会では、冒頭、委員長からもお話もございましたが、令和6年度行政組織機構改革についてと、行政のデジタル化について御説明をさせていただき、御意見、御指導を賜りたいと存じます。岩佐市政において初となりました今年度の行政組織機構改革におきましては、社会状況の複雑な変化や多様化、高度化する市民ニーズを踏まえ、本市のさまざまな業務が有機的に結びつき、地域課題に正面から向き合う新たな組織体制となるよう大幅な見直しを行いました。また、行政のデジタル化につきましては、自治体情報システムの標準化、共通化をはじめ、業務の効率化と市民サービスの向上に資する取組を着実に進めているところでございまして、DX時代にふさわしい自治体への転換を図っているところでございます。

本日は、以上2点の取組につきまして、その考え方やこれまでの進捗状況を担当課長より説明をいたさせますので、どうかよろしく願いいたします。

広浦委員長 ありがとうございました。

議題に入る前にお願いを申し上げます。理事者の方は、自己紹介をしていただきましたら、説明は着席して行っていただいて結構です。委員の方は、質疑のある場合は挙手をしていただきますようお願いいたします。

### (1) 令和6年度行政組織機構改革の概要について

広浦委員長 それでは議題(1)、令和6年度行政組織機構改革の概要についてを議題と

いたします。担当課から説明をお願いいたします。七條企画政策課長。

【理事者説明 七條 企画政策課長】

広浦委員長 担当課から説明をいただきました。  
ただ今から、議題（１）について質疑をお受けしたいと思います。質疑  
ありませんか。星加委員。

星加 委員 基本的なことをお尋ねさせていただきます。５ページの（２）、生活困窮  
者の自立支援に関する事務のところ、「障がい」の「がい」がひらがなの  
場合と、「障害者」の「害」が漢字の部分があるんですが、これは基本的に  
どういうふうに違いますか。

例えば、地域共生推進課の（９）番の、阿南市障害者基本計画、阿南市  
障害福祉計画、阿南市障害児福祉計画は、「害」が全部漢字ですよ。次の  
（１０）番も、阿南市障害支援区分審査会、次も阿南市障害者計画、「害」  
が全部。これってどういうふうに考えたらいいんですか。「がい」がひらが  
なのか漢字なのかという。

障害の「害」っていうのが何年か前から「がい」、ひらがなになってたよ  
うに思うんですけど、これって何か意図するところがあるのかどうか、そ  
れについて、基本的なことをお教えいただきたいなと思って質問させてい  
たきます。

広浦委員長 七條企画政策課長。

七條 課長 企画政策課、七條です。星加委員さんの御質問にお答えいたします。  
障がい者の「がい」の漢字とひらがなでございますが、基本的にひらが  
なを使うようになっております。法律で規定されているものが漢字の「害」  
を使うようになっております。以上、答弁といたします。

星加 委員 ありがとうございます。じゃあ、法律で決まってることは全て「害」  
が漢字ということですね。法律でないものは、普通は「がい」っていうの  
がひらがなで書くというような認識でよろしいんですか。分かりました。  
ありがとうございます。

広浦委員長 金久委員。

金久 委員 １１ページの都市政策課のところ、（１２）、（１３）、（１４）ってい  
うのがありまして、これ、公園緑地、都市公園、市立公園の管理とか整備な  
んですけれども、当初、公園緑地課っていうのがありまして、そちらのほ  
うにそのまま課を再編してって、さらにこの都市政策課という名前にな  
ったわけなんですけれども、ここで市の、例えば東部防災公園とか、いろいろ  
防災公園というのがあって、公園緑地課が整備とか担当しとったもんがあ  
りまして、そう認識しとんどすけども。ここには市立公園の管理っていう  
中に、これは市の防災公園、津乃峰もそうですかね、そういうところの防  
災という言葉がないんですけど、所掌事務の都市政策課の、（１２）か（１  
４）ぐらいにないんですけど、それはそこに入っとるという認識でよろし

いですか。

広浦委員長 七條企画政策課長。

七條 課長 企画政策課、七條です。  
金久委員の防災公園につきましては、この（１４）にある市内公園の管理に関すること、ここに入っており、都市政策課が管理しているということです。以上、答弁いたします。

広浦委員長 金久委員。

金久 委員 そうだと思ったんですけども、あえて防災っていうのを書いてないんで、これ、所掌事務なんですけども、分かりやすくいえば危機管理のほうと同行するとかいろいろあるのかどうか分かりませんが、市立公園の管理っていうんで、それが防災公園とか、あるいはそういう「など」とか、そういうのを明記されたいほうが分かりやすくていいのかなと。次々合併したもんだから分かりにくかったんで、ちょっとお伺いした。（１４）に入るとあるということですね。ありがとうございました。

広浦委員長 そのほか、ございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

広浦委員長 ないようですので。

---

## （２）行政のデジタル化について

---

広浦委員長 それでは議題（２）、行政のデジタル化についてを議題いたします。担当課から説明をお願いいたします。田中ＤＸ推進課長。

### 【理事者説明 田中 ＤＸ推進課長】

広浦委員長 ありがとうございました。担当課から説明をいただきました。  
ただいまから、議題（２）について質疑をお受けしたいと思います。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

広浦委員長 なしでよろしいですか。なしの声をいただきました。質疑がないようですので、本議題に関する質疑を終結いたします。  
以上で本日予定しておりました議題は全て終了いたしました。それでは、閉会に当たり平井副市長から御挨拶を受けたいと思います。平井副市長。

平井副市長 閉会に際しまして、一言御礼の御挨拶をさせていただきたいと存じます。  
本日は、令和６年度行政組織機構改革及び行政のデジタル化につつまし

て、調査、御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。持続可能な阿南の創生に向けましては、効率的かつ効果的な促進体制の構築、また、D X時代をとらえまして市民サービスの向上、そして職員の働き方改革、こういったことを実現すべく、本市一丸となりまして取り組むことが重要であると、このように考えているところでございます。このような認識のもとで、本日委員各位からいただきました言葉の定義づけ、統一的な用い方でございますとか、より分かりやすい所管事務の記載といった御意見、御論議の趣旨につきましては、今後の行財政改革にしっかりと活かしてまいりたいと考えております。広浦委員長はじめ、委員各位におかれましては、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願いを申し上げまして、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

広浦委員長      ありがとうございました。  
本日はこれにて散会いたします。お疲れ様でした。

---

閉 会    1 4 : 1 1

---